

# 東電ぐるみ選挙

参院候補チラシ同封

元社員向け広報に「国民」

東京電力ホールディングスが元社員に定期的に郵送している社内広報誌に、7月の参院選に国民党から比例代表で立候補する竹詰ひとし・東京電力労働組合監査長への支援を求めるチラシを同封していましたが16日、本紙の調べで分かりました。東電は福島第一原発事故後、実質国有化されています。公的性がきわめて強い企業が、事業上の与党となつた政党の候補を支援することに批判が出ています。

(田中真聖)



東京電力グループ報と同封して送られている東京電力労働組合監査長「竹詰ひとし」の内部資料

複数の元社員による  
と、今月送付された社内  
報の中に、竹詰東電労組  
監査長のチラシが同封さ  
れていました。チラシには、「先駆の皆さまへ」  
として、「東京電力労働  
組合は『竹詰ひとし』を  
電力の代表として国政へ  
送り出すため、組織の総  
力を挙げて取り組んでま  
いります」と書かれてい  
ます。

東電は本紙の取材に竹  
詰氏のチラシを社内報に  
同封したことについて  
「労働組合からの要請を  
受け、労働組合作成のチ  
ラシを同封した」と認め  
ています。

東電は本紙の取材に竹  
詰氏のチラシを社内報に  
同封したことについて  
「労働組合からの要請を  
受け、労働組合作成のチ  
ラシを同封した」と認め  
ています。

チラシが同封されてい  
たのは東電グループ報  
『TEPCO Community』(テブコミュ)で、  
東電が年6回発行してい  
る社内報です。現役社員  
の活動状況などを知らせ  
る趣旨で送付を希望する  
退職者に郵送しています。

## 東電労組が要請

竹詰氏は田原のツイッ  
ターで原発について、  
「日本もより安全性や信  
頼性等に優れる革新的な  
炉へのリフレース・新增  
設や研究開発等の必要性  
に位置づけたなど」原子  
力の将来ビジョンを国の  
意思として打ち出すべ  
き」と述べ、原発推進  
を訴えています。国民党  
主党も原発の早期再稼  
働を主張。2022年度  
政府予算に賛成し、事実  
上の与党となつています。

東電労組は期限までに  
回答がありませんでした。